7章　環境と植物の反応【STEP 2】

*浜島書店

1. 陽葉と陰葉の補償点の違いを 20 字以内で記せ。

（2007 東京農工大）　▶ 生物図表 p.168

10　20

2. 植物には動物の心臓のような動く循環器官が存在しないにもかかわらず，高い木の先端まで水を吸い上げることができる。そのしくみを 100 字以内で述べよ。

（2007 名古屋市立大）　▶ 生物図表 p.169

10　20

30　40

50　60

70　80

90　100

3. 短日植物であるアサガオが，日長の長い夏であっても花芽を形成できる理由を述べよ。

（2007 新潟大）　▶ 生物図表 p.174

10　20

30　40

50　60

70　80

90　100

4. 日本のような北半球の中緯度地域には，短日植物も長日植物も生育している。しかし，北半球の高緯度地域には，このどちらかの植物はほとんど分布しない。ほとんど分布しないのは，どちらの植物かを答え，その理由も簡潔に説明せよ。

（2006 甲南大） ▶ 生物図表 p.174

5. 種子が休眠する意義について 30 字以内で答えよ。

（2007 北海道大） ▶ 生物図表 p.216

6. 種子の発芽に必要な環境条件として，適切な温度，水分，酸素，光（植物種による）があげられる。しかし，秋にとれた種子において，これらの環境条件が適切でもすぐに発芽しないものがある。これらの種子も春まで待つと発芽するが，それよりはやく発芽させる方法を記せ。

（2008 東北大） ▶ 生物図表 p.175

7. 光発芽種子にとって，発芽に光を必要とするのはどのような利点があるか，70 字以内で述べよ。

（2008 名古屋大） ▶ 生物図表 p.175